



# ほたるっ子

磐梯第一小学校  
学校だより第13号  
令和2年7月8日  
文責：校長 酒井康雄

## 「原初の体験」の大切さ！

「原初の体験」と聞き慣れない言葉ですが、1980年代、国語教育学者の国分一太郎氏が提言しました。子どもたちに**季節感を育てるような遊び**と、**年長者・老人といっしょに行う素朴な労働**という「原初の体験」を用意することが、「人間の教育として、ぜひ必要」と考えました。季節感を育てる遊びは、外での遊びや、季節の草花、木の実などを使った遊びなど、想像できると思います。では、年長者・老人といっしょに行う労働とは、どのようなものがあるのでしょうか。

**身近なところでは、お手伝い**があります。一緒に料理を作ったり、日曜大工でものを作ったり、畑仕事のお手伝いをしたりと……。一緒に体を使ったり、道具を使ったり、作業をする過程で「こうすればいいかも……」と考えたり、問い直したり、話し合ったりする活動が必然的に生じてきます。

人は、人との関わりの中で成長します。そして、社会人になり、人とどのように関わり、様々なアイデアを生み出しながら、自分らしく生きることができる基礎を作るのが学校の役割です。**学校において、がんばって成し遂げた充実感や成功経験だけでなく、失敗した経験、間違った経験も、成長する上では大きな糧**です。社会人になり、様々な壁が立ちほだかっても、様々な経験をもとに困難を乗り越えられる人になってほしいと考えています。健やかな成長には栄養のバランスがとれた食事が必要なように、時には成功し、時には挫折し、将来に生きる**バランスがとれた経験が必要**な感じがします。



## ホタルブクロ、名前の由来は？

今の時期、このような花を見かけたことはないですか。ホタルブクロとって、名前の由来は、子どもが袋のような形をした花の中に虫を入れて遊んだという説や、提灯の古い言葉「火垂るの袋」が語源になっているという説もあります。別名「提灯花」とも言われ、英語では「bellflower(ベルフラワー)」と呼ばれています。

雨上がりのひととき、クマバチが花から花へと訪れていました。クマバチは花蜜や花粉をもらい、ホタルブクロは受粉を助けてもらう、互いに支え合っている関係です。